

CircleK Sunkus



WA^{KU} WA^{KU}! 株主通信

株式会社サークルKサンクス

2008年2月期

2007年3月1日～2008年2月29日

〔証券コード：3337〕



食事とからだの
ベストバランス

**THINK
BODY**

CONTENTS

- 01 株主の皆さまへ
- 03 投資家の視点
- 09 要約財務諸表
- 14 社会的責任への取り組み
- 15 コンビニエンスストア業界比較
- 16 株主様アンケート結果のご報告
- 17 株主還元策
- 18 株式情報／会社情報



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より当社へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当期は徹底した質の向上を目指し、各部門における営業力の強化に取り組みました。その結果、新店の質を表す新店日販を改善することができたほか、商品面でも新ブランドを立ち上げたオリジナルのパン・デザートが好調に推移しました。これら質を強化する取り組みが奏功した一方、来店客数では減少基調が回復せず、既存店売上高前年比は前年を割り込みました。また、加盟店支援の強化や新POSレジの導入などにより販管費が増加したほか、不採算店の整理を進めたことから閉店費用が増加し、当期の連結営業利益および連結経常利益は減益となりました。

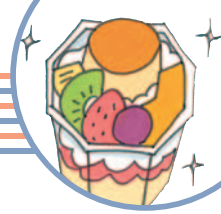
2008年4月、当社は3ヵ年計画を発表いたしました。コンビニエンスストア業界を取り巻く環境が厳しさを増す中、これまでと同じ考え方・やり方をしている、新しいものは生まれず成長もありません。ローコストの徹底、費用対効果の追求など「守り」の姿勢を強化しながらも、新しい商品・サービスの開発に挑戦する「攻め」の姿勢を貫くことで、利益体質への変革を図ってまいります。

当社は攻めの施策として、新サービスのご提供を目的としたシステム関連の大型投資を行ってまいります。この投資負担により、3ヵ年計画では初年度および2年目が減益計画となっておりますが、これらは当社が競争に勝ち残るために不可欠な投資と考えています。数値の詳細についてはP.6でご紹介していますが、攻守にわたる施策を着実に実行し、3年目の最終年度には増益基調へ回復できるよう全力で取り組んでいく所存です。株主の皆さまには、当社の中期戦略をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

中村元彦



3ヵ年計画の初年度 2009年2月期の主な施策

夢WAKU²プロジェクト展開

2008年3月、加盟店と本部が一丸となって「お客様に愛されるお店」を目指す全社的な取り組み「夢WAKU²プロジェクト」が本格始動しました。加盟店のオーナー・スタッフが参加する「お客様満足向上フォーラム」を4月より全国各地で開催し、「目指すべき姿」の共有を図ったほか、6月の店舗ユニフォーム刷新に合わせ、接客レベルや品揃えといったオペレーション面でも最良の状態でお客様を迎えられるよう店舗づくりを進めていきます。このプロジェクトを推進することで、顧客価値の最大化に努めていく考えです。

サークルKとサンクスの店舗ユニフォームを一新!

表紙のイラストをご覧になって、「見覚えのないユニフォーム」と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか?当社は、これまでサークルKとサンクスで異なっていた店舗ユニフォームのデザインを統一し、2008年6月9日より全店で一斉導入します。また、機能面においても「ワクワク+爽やか、清潔」というコンセプトを反映し、汚れやにおいがつきにくく耐久性に優れた生地を採用しました。なお、当社はこのユニフォーム刷新に際して、業界初となる環境への取り組みも実施していきます。詳しくはP.14をご覧ください。



コーポレートカラーの赤に清潔感を表す白と誠実を表す紺を配色

主力カテゴリーの強化と育成

2008年2月期は「攻め」の商品開発を進め、オリジナルパン「まごころ仕込み おいしいパン生活」とオリジナルデザート「Cherie Dolce (シェリエドルチェ)」という2つの新ブランドを立ち上げました。いずれも発売以来、順調に推移しており、特に「Cherie Dolce」は前年同月比141% (2008年2月度) となるなど、当社の看板ブランドとして育ちつつあります。次期は主力カテゴリー強化の一環として、パスタなどを育成していく考えです。



2007年11月
オリジナルデザート



2008年は
“パスタ”
を強化

第8次店舗総合情報システム・新サービスへの投資

将来における売上や利益の拡大を目指し、「攻め」の施策として下記のようなシステム・サービス関連の投資を行います。

●新ストアコミュニケーションサーバー (SCS) (2008年9月～2009年2月(予定))

光ブロードバンド通信システムやすでに導入済みのPOSレジと併せて、店舗総合情報システムを刷新し、店舗スタッフの育成支援や単品管理の精度向上を目指していきます。

●新型マルチコピー機 (2008年4月～2009年2月(予定))

コピー・ファクス機能に加え、簡単操作でデジタル画像がプリントできます。また、情報漏洩に対するセキュリティにも配慮した安心設計です。

●店頭マルチメディア端末 (2008年8月(予定)～)

より魅力的なコンテンツを現在選定中です。



新型マルチコピー機
(イメージ画像)



1 既存店売上高前年比

Q. 当期(2008年2月期)の既存店売上高前年比は？

A. -1.8%と前期よりマイナス幅は縮小しました。

当期は、これまでサークルKとサンクスで別々に展開してきた商品ブランドの統合を完了し、オリジナルパンとオリジナルデザートについては新たなブランドを立ち上げました。この新ブランドがいずれも立ち上げ以来好調を続けたほか、地域別でも主力地域の1つである関東において売上が回復するなど、既存店売上高前年比は比較的堅調に推移しました。しかし、年末からの急激な気温低下に加え、東北や中京地区の一部において売上が振るわなかったこともあり、通期の既存店売上高前年比は-1.8%となりました。

売上の構成要素

売上は下記の式の通り、客数と客単価という2つの要素に分解することができます。

$$\text{売上} = \text{客数} \times \text{平均客単価}$$

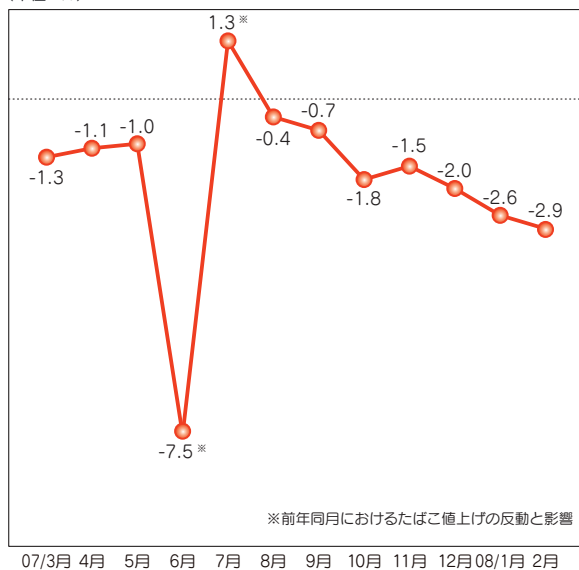
平均客単価とは、お客様1人あたりのお買い上げ平均金額です。そこで当社はこの2つの要素のうち特に客数に注目し、利便性を高めることでお客様にご来店いただく機会を増やしていただけるよう、サービスの強化に努めています。新サービスの詳細は次ページをご覧ください。

●次期(2009年2月期)の見通し

次期は、全社運動「夢WAKU2プロジェクト」を展開し、加盟店と本部が一丸となってお客様満足度向上に取り組んでいきます。商品面では、ファーストフードなど主力カテゴリー強化の一環として、特に調理麺や調理パンに注力していくほか、サービス面でも4月よりご利用可能となった後払い電子マネー「iD」など、多様な決済手段の導入によりお客様の利便性向上を図ります。しかしながら、コンビニエンスストアを取り巻く環境は依然として厳しいことが予想されることから、次期の既存店売上高前年比は-1.0%を計画しています。

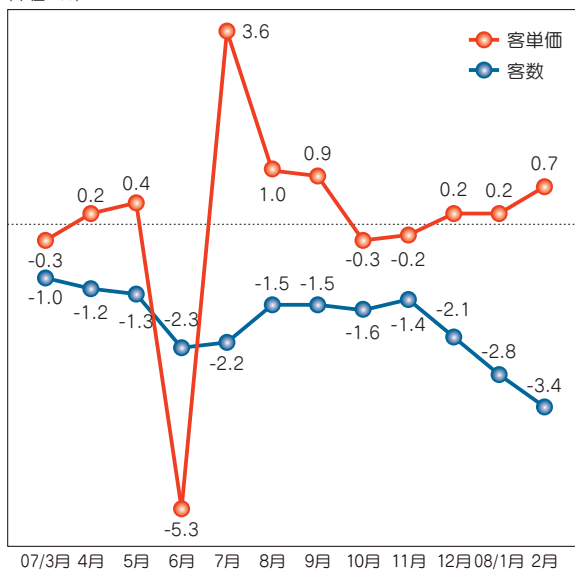
既存店売上高前年比 月次推移

(単位：%)



既存店客数・客単価前年比 月次推移

(単位：%)





便利なサービスを拡大中!

当社はお客様にご来店いただく機会を拡大するべく、サービスに関する取り組みを強化し、店舗における利便性を高めていきたいと考えています。急速に伸長している電子決済への対応に加え、ATMの整備、インターネット購入商品の店頭受取りなど、サービスを次々と拡大しています。

●電子決済サービス計5規格がご利用可能に!

すでに全店をご利用いただいているプリペイド(前払い)方式の電子マネー「Edy」に加え、2008年1月21日よりポストペイ(後払い)方式の「QUICPay」「Visa Touch (Smartplus)」が、そして2008年4月14日より後払い電子マネー「iD」が全店をご利用可能となりました。お客様の利便性向上はもちろんのこと、レジの混雑緩和にもつながるものと見込んでいます。



●ATM「Bank Time (バンクタイム)」サービス開始!

当社と㈱りそな銀行は、2008年2月18日より関西地区(大阪府・兵庫県・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県)の当社店舗にて、りそな銀行を幹事銀行とするATM「バンクタイム」のサービスを開始しました。2008年7月を目処に対象となる約840店への設置を完了する予定です。



●楽天ブックス全商品の受取りが可能に!

2008年2月1日より「楽天ブックス」で購入した商品の受取り・支払いが24時間全店で可能となりました。商品の店舗到着をお客様へメールで通知するため、タイムリーな商品の受取りが可能となっています。



ピックアップ サークルKサンクス 第6回 「サービス」

コピーや料金収納などはコンビニエンスストアのサービスとして定着しつつありますが、当社店舗ではそのほかにも下記のような多岐にわたるサービスをご利用いただけます。

店頭販売: こんな商品もご購入いただけます!

- 切手・はがき・印紙
- チケット: 「ぴあ」チケット、コンサート・イベント・スポーツのチケット、映画前売券など



店内設置サービス

- 郵便ポスト
- ATM: ゼロバンク、バンクタイム、イーネットなど 2,973台(2008年2月末現在)

店頭受取サービス

上記「楽天ブックス」以外にも、「セシール」や「ディノス」など当社と提携しているインターネット通信販売会社でお買い求めになった商品の受取り・支払いが可能です。



お支払い方法: 現金以外にも色々あります!

- 電子決済サービス: Edy、iD、QUICPay、Visa Touch/Smartplus
- クレジットカード



- ギフトカード: JCB、VISA、三菱UFJニコス、UC
 - パークレーヴァウチャーズ食事券
- ※一部お支払いいただけない商品・サービスがあります。

※一部店舗を除きます。



3 連結業績

Q. 当期(2008年2月期)の連結業績は？

A. 売上高が前期を下回ったことに加え、前期より閉店を増やしたことにより、

利益面では前期を下回りました。

当期より連結子会社が1社増え、合計6社となりました(P.9ご参照)。サークルKおよびサンクスの出店数が前期を下回ったことに加え、不採算店や自営店の整理を進めたことで、期末店舗数は純減となりました。さらに既存店売上高も前年比マイナスとなったことにより、当期のチェーン全店売上高は前期を割り込みました。一方、営業総収入は連結子会社の増加に加え、自営店売上高の増加により、前期比6.2%増となりました。期末の自営店舗数は前期末を下回りましたが、当期における自営店閉店の4割弱は第4四半期(12～2月)に行われたため、期中の稼動店舗数が多く、通期の自営店売上高は前期を上回りました。しかしながら、営業総収入の大部分を占める加盟店からの収入が減少したことなどで、営業総利益は前期比1.3%増にとどまり、さらに政策的に加盟店支援の経費を投入したことから、営業利益は前期比8.7%減の210億9千5百万円となりました。また、不採算店の整理により閉店に関わる費用も増加し、経常利益は前期比11.9%減の194億7千万円、当期純利益は16.2%減の85億7千9百万円となりました。

連結業績ハイライト

(単位：百万円)

	08/2期	前期比
チェーン全店売上高	902,423	-1.0%
営業総収入	206,373	6.2%
営業総利益	135,758	1.3%
営業利益	21,095	-8.7%
経常利益	19,470	-11.9%
当期純利益	8,579	-16.2%

●3カ年計画(2009年2月期～2011年2月期)

P.1でもお伝えした通り、当社は次期(2009年2月期)を初年度とする3カ年計画を策定しました。厳しい競争に打ち勝つための必要な先行投資として、店舗システム関連などに大型投資を行い関連費用が増加するため、初年度および2年目は減益計画となっていますが、あらゆる部門における営業力の強化と利益(コスト)構造の変化への対応を実行し、利益体質への変革を図ることで、2011年2月期からの増益基調回復を目指していきます。

3カ年計画

(単位：百万円)

	09/2期	10/2期	11/2期
チェーン全店売上高	898,280	924,290	959,360
営業総収入	206,160	216,480	233,280
営業利益	17,000	16,090	17,500
経常利益	15,800	14,900	16,100
当期純利益	6,620	6,430	7,360
設備投資	42,800	29,030	26,970

チェーン全店売上高／営業総収入

(単位：百万円)

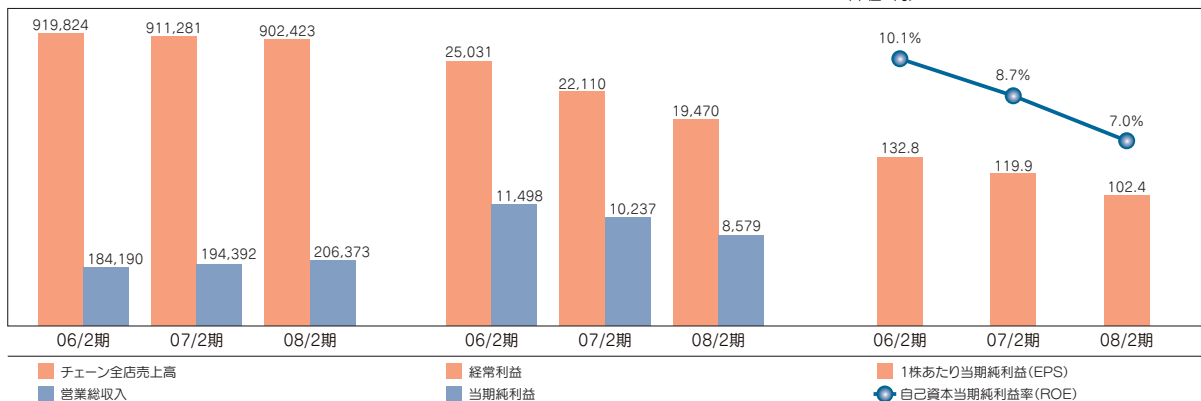
経常利益／当期純利益

(単位：百万円)

1株あたり当期純利益(EPS)／

自己資本当期純利益率(ROE)

(単位：円)





4 商品

●ユニーのグループ力を最大限に！

当社の親会社は東海エリアを中心にスーパーストアを展開するユニー(株)であり、当社はユニーグループの一員です。ユニーグループとしての商品開発力と商品調達力を最大限に活用するべく、グループとしての取り組みをさらに強化しています。

ユニーグループ新プライベートブランド「UUCS(ユーユーシーエス)」発売

ユニー(株)、(株)ユーストア、当社のユニーグループ3社は、2008年4月より「高品質かつお手軽価格」を謳ったプライベートブランド「UUCS」を立ち上げ、全国のユニーグループ店舗にて販売を開始しました。ユニーグループのプライベートブランド商品は大きく分けて、「UUCS」のような「高品質かつお手軽価格商品」、「価値訴求型商品」、「価格訴求型商品」の3タイプに分かれます。同じ小売業とはいえ、スーパーストアとコンビニエンスストアでは得意とする分野も異なっており、それぞれの強みをお互いが共有していくことで、ひいてはユニーグループ全体の商品力を強化していく考えです。



2008年1月～：「このおいしさでこのカロリー！食物繊維もうれしいパン」発売

2008年1月、ユニーグループ(ユニー(株)、(株)ユーストア、当社)と伊藤忠グループ(伊藤忠ファミリーマート、伊藤忠商事(株))の5社は、共同で「このおいしさでこのカロリー！食物繊維もうれしいパン」を発売しました。食感やおいしさはそのままに、食物繊維を含み(1包あたり3g以上)、カロリーを抑えた新しい生地を使用しています。惣菜パン・菓子パンについた右のロゴマークが目印です。



●2008年注目の切り口は健康！

2008年4月より、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査・特定保健指導」の導入が全国で始まりました。これを受け、健康に対する注目がこれまで以上に高まっています。当社は、2006年7月より健康志向のお客様をターゲットとした「THINK BODY」シリーズの商品を展開してきましたが、タイアップ企画などを通じてさらに商品を強化していく考えです。

2008年1月8日～28日：「THINK BODY からだ巡シリーズ」発売

日本コカ・コーラ(株)製品「からだ巡茶」のコンセプトを活かしたパッケージデザインを採用するとともに、薬日本堂(株)監修のもと、【食べる、巡る、キレイ】をコンセプトとした5アイテムを展開しました。





2008年2月5日～24日：All Aboutとタイアップ「からだ燃焼」キャンペーン展開

その道の専門家(ガイド)が情報を提供する総合情報サイト「All About」において、「食と健康」のガイドを務める南 恵子氏が総合監修した新しいタイプの「THINK BODY」商品11アイテムを展開しました。



2008年4月1日～14日：「カラダ快適、新生活フェア!」開催

「THINK BODY」商品や特定保健用食品など計97アイテムの対象商品を含むレシートを集めると、健康を題材にした素敵な商品が4,500名様に当たるキャンペーンを開催しました。



「THINK BODY」シリーズとは…

2006年7月よりスタートした、バランスのいい食生活と健康なカラダづくりのための運動を採り入れたライフサイクルを、多角的にご提案する当社のプロジェクト。要となるお弁当シリーズ「バランス食堂」では5大栄養素をバランス良く摂取できます。

食事とからだの
ベストバランス



●地区商品の強化

当社は全国37都道府県に店舗を展開していますが、食べ物に対する嗜好は地域ごとにバラエティに富んでいます。従来、弁当など当社の米飯商品は約6割が全国統一、約4割が地区限定となっていましたが、今後は地区商品の割合を増やし、地域の味や素材をより活かした展開を行っていきます。

また、余剰作物や流通規格外の農作物の有効活用を通じて、「地産地消」を推進していく「MOT（もっと）プロジェクト」についても、地域生産者や行政などと連携しながら取り組みを強化していく考えです。

MOTネーミングの由来

- ・JIMOTO(地元)
- ・MOTTO！（もっと）
- ・MOTTAINAI(もったいない)

これまでの展開地域

- ・北陸 ・静岡 ・信州
- ・四国 ・青森

(2008年4月末現在)

サークルKサンクス ニュース速報

5月28日～6月15日 「エンゼルからの贈り物フェア」展開

ユニーグループ5社と森永製菓(株)、森永乳業(株)の共同企画で、菓子やアイス、飲料、デザートなどにおいて、オリジナル商品を展開していきます。

※本誌編集時点での情報のため、変更となる場合があります。



要約財務諸表

連結子会社

当期より連結子会社が1社増え、合計6社となりました。このためP.9～12の連結財務諸表における数値は、決算期によって連結対象となる子会社の数が異なります。下記の通り、2007年2月期は5社、2008年2月期は6社でした。

	07/2期	08/2期
サンクス青森	○	○
サンクス西埼玉	○	○
サンクス北関東	○	○
サンクス西四国	○	○
ゼロネットワークス	○	○
99イチバ	—	○

サンクス青森㈱、サンクス西埼玉㈱、㈱サンクス北関東、サンクス西四国㈱の4社は当社のエリアフランチャイザーです。また、㈱ゼロネットワークスは当社オリジナルブランドのATM「ゼロバンク」や「バンクタイム」の運営受託を行っており、㈱99イチバは99円の価格帯を中心とした生鮮ミニスーパーを展開しています。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2008年2月期 2008年2月29日現在	2007年2月期 2007年2月28日現在	増減
[資産の部]			
流動資産	94,243	88,511	5,732
現金及び預金	52,736	50,945	1,790
加盟店貸勘定	3,208	3,404	△ 195
有価証券	17,026	14,011	3,015
たな卸資産	2,542	2,490	51
前払費用	3,905	3,612	292
繰延税金資産	1,050	867	183
未収入金	9,697	9,300	396
その他	4,425	4,276	149
貸倒引当金	△ 348	△ 396	47
固定資産	124,577	123,865	711
有形固定資産	47,355	46,319	1,035
建物及び構築物	33,648	32,437	1,211
機械装置及び運搬具	16	20	△ 4
器具及び備品	3,864	4,072	△ 207
土地	8,816	8,944	△ 128
建設仮勘定	1,009	844	164
無形固定資産	8,402	6,351	2,050
ソフトウェア	3,844	3,047	796
ソフトウェア仮勘定	1,511	569	941
のれん	58	144	△ 86
その他	2,988	2,590	398
投資その他の資産	68,819	71,193	△ 2,374
投資有価証券	4,798	5,832	△ 1,033
繰延税金資産	4,159	3,644	515
長期差入保証金	52,781	54,053	△ 1,271
その他	8,567	9,117	△ 550
貸倒引当金	△ 1,488	△ 1,454	△ 33
資産合計	218,821	212,377	6,444



(単位：百万円)

	2008年2月期 2008年2月29日現在	2007年2月期 2007年2月28日現在	増減
〔負債の部〕			
流動負債	78,451	76,086	2,364
買掛金	36,088	36,470	△ 381
加盟店借勘定	2,496	2,672	△ 176
未払金	5,862	5,738	123
未払法人税等	3,304	3,617	△ 312
預り金	26,630	23,641	2,989
賞与引当金	771	765	5
役員賞与引当金	47	46	0
ポイント引当金	80	-	80
その他	3,169	3,133	36
固定負債	15,738	16,407	△ 669
退職給付引当金	708	2,380	△ 1,671
預り保証金	11,096	11,753	△ 656
債務保証損失引当金	136	-	136
リース資産減損勘定	914	1,150	△ 235
その他	2,882	1,124	1,758
負債合計	94,189	92,493	1,695
〔純資産の部〕			
株主資本	124,084	119,070	5,014
資本金	8,380	8,380	-
資本剰余金	36,093	36,093	△ 0
利益剰余金	84,636	79,617	5,018
自己株式	△ 5,025	△ 5,021	△ 4
評価・換算差額等	523	812	△ 289
その他有価証券評価差額金	523	812	△ 289
少数株主持分	24	0	23
純資産合計	124,631	119,883	4,748
負債純資産合計	218,821	212,377	6,444

預り金

2008年2月期末の預り金は前期末に比べ29億8千9百万円増加しました。預り金の主な内容は、公共料金などの収納代行サービスによる取扱いと電子マネーEdyカードへのチャージ(入金)です。2008年2月期における料金収納の取扱い額が前期比9%増と伸長していることに加え、2008年2月のEdyカードへのチャージ額も前年同月比15%増と増加しています。

ポイント引当金

サークルKまたはサンクスの店舗において、電子マネーEdyを搭載した当社オリジナルの「KARUWAZA CLUBカード」でお買い上げいただくと、100円につき1ポイントを差し上げています。貯まったポイントは当社店舗にてお使いいただける金券などと交換をしていますが、これらポイントの使用に備えるため、当期において将来使用されると見込まれる額をポイント引当金として8千万円計上しました。



連結損益計算書

(単位：百万円)

	2008年2月期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで	2007年2月期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで	増減
営業収入	113,898	115,147	△ 1,248
売上高*	92,474	79,245	13,229
営業総収入	206,373	194,392	11,980
売上原価	70,614	60,359	10,255
営業総利益	135,758	134,033	1,724
販売費及び一般管理費	114,662	110,920	3,742
営業利益	21,095	23,113	△ 2,017
営業外収益	1,438	1,211	227
営業外費用	3,063	2,213	850
経常利益	19,470	22,110	△ 2,640
特別利益	1,548	1,024	524
特別損失	5,779	4,748	1,030
税金等調整前当期純利益	15,239	18,386	△ 3,146
法人税、住民税及び事業税	7,265	7,932	△ 666
法人税等調整額	△ 503	217	△ 720
少数株主利益(△：損失)	△ 101	△ 0	△ 101
当期純利益	8,579	10,237	△ 1,657

※自営店の売上高で、加盟店売上高は含まれていません。

営業総収入

既存店売上高前年比が-1.8%だったことや店舗数が純減したことなどにより、加盟店からの収入が減少し、営業収入は前期に比べ12億4千8百万円減少しました。一方、期中における自営店の稼働日数が前期に比べて多かったため、自営店売上高は132億2千9百万円増となり、営業総収入は119億8千万円の増加となりました。

販売費及び一般管理費

当期より連結子会社が1社増えたこともあり、前期比37億4千2百万円増となりました。自営店の稼働日数が前期より増えたことなどから人件費が前期比12億5千9百万円増加したほか、新規出店の家賃相場が上昇していることに加え、より良い立地へ店舗を移転するリロケートの推進に伴い、駐車場スペースなど店舗面積が拡大していることもあって、地代家賃は前期比19億3千万円増となりました。

営業外費用、特別損失

当期は不採算店舗の整理を実施したことから、前期に比べて閉店数を大幅に増やしたため、閉店に伴う費用が増加しました。営業外費用のほとんどを占める解約損害金が8億6千7百万円増加したほか、特別損失においても固定資産処分損およびリース解約損は、前期に比べ合わせて12億6千6百万円増加しました。

財務諸表の ヒント

連結損益計算書に対するコメントとして、P.6の連結業績に関するご説明もご参照下さい。

財務諸表の ヒント

Q. 収益の大本となっている営業総収入とは？

A. 営業総収入は、①営業収入と②売上高から構成されています。当社はフランチャイズ事業を展開しており、店舗の約9割がフランチャイズ契約を結んだ加盟店、残りの約1割が自営店となっています。加盟店の売上高はそのまま当社の収益とはならず、コンビニエンスストア経営のノウハウをご提供する対価として、加盟店より受領するロイヤルティが当社の収益となります。この加盟店からの収入が①営業収入の約9割を占めるものです。一方②売上高は、自営店の売上高を示しているため、加盟店の場合と異なり、そのまま当社の収益となります。



連結株主資本等変動計算書

2008年2月期 (2007年3月1日から2008年2月29日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2007年2月28日残高	8,380	36,093	79,617	△ 5,021	119,070	812	812	0	119,883
当期中の変動額									
剰余金の配当			△ 3,266		△ 3,266				△ 3,266
当期純利益			8,579		8,579				8,579
自己株式の取得				△ 5	△ 5				△ 5
自己株式の処分		△ 0		1	1				1
連結子会社の増加			△ 294		△ 294				△ 294
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 289	△ 289	23	△ 265
当期中の変動額合計	-	△ 0	5,018	△ 4	5,014	△ 289	△ 289	23	4,748
2008年2月29日残高	8,380	36,093	84,636	△ 5,025	124,084	523	523	24	124,631

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	2008年2月期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで	2007年2月期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,262	19,701	1,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,791	△ 15,209	△ 581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,168	△ 9,856	5,688
現金及び現金同等物の増減額	1,303	△ 5,364	6,668
現金及び現金同等物の期首残高	64,957	68,803	△ 3,846
新規連結子会社の増加に伴う 現金及び現金同等物の増加額	502	1,518	△ 1,016
現金及び現金同等物の期末残高	66,763	64,957	1,805

現金及び現金同等物の期末残高

2008年2月期の期末残高は前期末に比べ18億5百万円増加し667億6千3百万円となりました。この内訳は、P.9の連結貸借対照表における「現金及び預金」527億3千6百万円と「有価証券」に含まれるMMF20億1千3百万円およびFFF120億1千3百万円になります。MMFやFFFは容易に換金ができるうえ、価値の変動についてはわずかなリスクしか負わないため、現金同等物として扱っています。



個別貸借対照表

(単位：百万円)

	2008年2月期 2008年2月29日現在	2007年2月期 2007年2月28日現在
〔資産の部〕		
流動資産	92,848	86,903
固定資産	122,018	121,546
有形固定資産	44,279	43,626
無形固定資産	8,258	6,216
投資その他の資産	69,480	71,702
資産合計	214,867	208,449
〔負債の部〕		
流動負債	74,080	72,079
固定負債	15,302	15,973
負債合計	89,383	88,052
〔純資産の部〕		
株主資本	124,959	119,581
資本金	8,380	8,380
資本剰余金	36,093	36,093
利益剰余金	85,511	80,129
自己株式	△ 5,025	△ 5,021
評価・換算差額等	524	815
その他有価証券評価差額金	524	815
純資産合計	125,483	120,397
負債純資産合計	214,867	208,449

個別損益計算書

(単位：百万円)

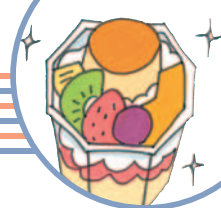
	2008年2月期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで	2007年2月期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで
営業総収入	189,247	183,521
売上原価	59,457	54,300
営業総利益	129,789	129,221
販売費及び一般管理費	108,313	106,285
営業利益	21,476	22,935
営業外収益	1,373	1,115
営業外費用	3,147	2,216
経常利益	19,702	21,834
特別利益	1,536	1,024
特別損失	6,040	4,635
税引前当期純利益	15,198	18,223
法人税、住民税及び事業税	7,119	7,829
法人税等調整額	△ 569	△ 11
当期純利益	8,648	10,405

個別株主資本等変動計算書

2008年2月期 (2007年3月1日から2008年2月29日まで)

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益 剰余金					利益剰余金 合計	
2007年2月28日残高	8,380	36,090	3	36,093	687	68,921	10,520	80,129	△ 5,021	119,581	815	815	120,397
当期中の変動額													
剰余金の配当							△ 3,266	△ 3,266		△ 3,266			△ 3,266
当期純利益							8,648	8,648		8,648			8,648
自己株式の取得									△ 5	△ 5			△ 5
自己株式の処分			△0	△0					1	1			1
別途積立金の横立						7,300	△ 7,300	-		-			-
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)										-	△ 291	△ 291	△ 291
当期中の変動額合計	-	-	△0	△0	-	7,300	△ 1,918	5,381	△ 4	5,377	△ 291	△ 291	5,086
2008年2月29日残高	8,380	36,090	3	36,093	687	76,221	8,602	85,511	△ 5,025	124,959	524	524	125,483



カンボジアに5校目の「みんなの夢学校」が開校!

当社は企業活動から得られる利益の一部を「JHP・学校をつくる会」と「ファミリーハウス」という2つの特定非営利活動法人(NPO)へ寄託し、その活動を支援しています。「JHP・学校をつくる会」を通じては、2004年2月期よりカンボジアでの学校建設事業を支援しており、2008年2月には新たに完成したストゥントゥルー中学校の贈呈式が行われました。ストゥントゥルー中学校における当社の支援内容は、校舎2棟、教室内備品(黒板・机・イス)、トイレ、井戸などで、教育環境はもちろんのこと、学校内における衛生環境の整備も併せて支援しています。

これまでに当社が建設を支援してきた小中学校はこのストゥントゥルー中学校を含めて計5校となります。これら5校には、「みんなの夢学校」という共通の愛称が付けられており、各校舎の壁にもその名が書かれています。この愛称は、子どもたちに大きな夢を持って楽しく勉強してほしい、そしていつの日か社会の中心となり、カンボジアの発展を担ってほしいという当社の願いを込めたものです。カンボジアでは依然として学校数が非常に不足しています。現在この5校で学習している3,000名余りの生徒たちのように、子どもたちが楽しく学べる環境を整えていけるよう、当社は今後も学校建設事業の支援を続けていく考えです。



授業風景



ストゥントゥルー中学校



贈呈式にて

ユニフォームからリサイクルしたマイバッグを無償配布

P.2でもご紹介した通り、当社は2008年6月9日よりサークルKとサンクスにおけるユニフォームを統一し、デザインを一新します。この新ユニフォーム導入に伴い、当社は環境へのさらなる取り組みも併せて実施していきます。まず、新ユニフォームの生地にはペットボトルを再生したエコ素材を使用します。また、使わなくなった旧ユニフォームについては、いったん繊維に戻し、その繊維からマイバッグ約25万袋を製作してお客様に無償配布させていただく予定です。これは業界初の試みとなります。これらの取り組みを通じて、お客様とともに環境活動を推進しながら、新ユニフォームで気持ちも新たにお客様に愛されるお店づくりを目指していきます。



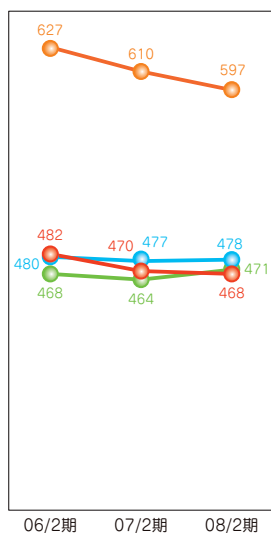


コンビニエンスストア業界比較

全店日販

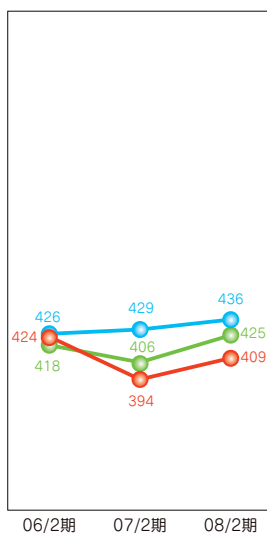
1日1店あたり平均売上高

(単位：千円)



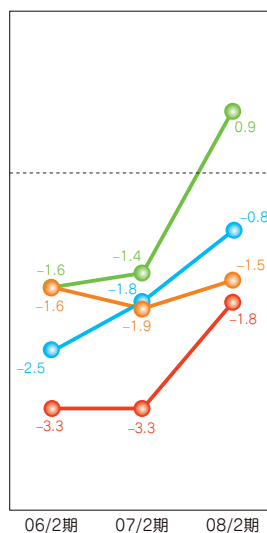
新店日販

新店(=開店後1年以内の店)の1日1店あたり平均売上高
(単位：千円)



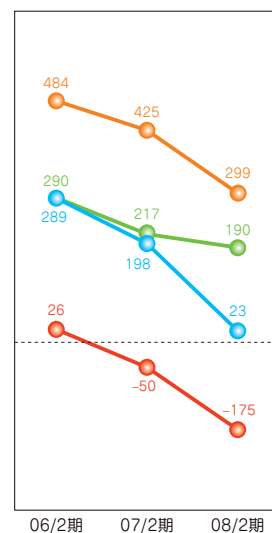
既存店売上高前年比

既存店(=開店後1年以上経過した店)の売上高前年比
(単位：%)



店舗純増減数

(単位：店)



● サークルKサンクス ● セブン-イレブン ● ローソン ● ファミリーマート

全店日販

セブン-イレブンのみが50万円台となり、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクスはいずれも40万円台後半でした。07/2期比では、セブン-イレブンが1万3千円減、サークルKサンクスが2千円減となる一方、ローソンが1千円増、ファミリーマートが7千円増となり、基調は分かれました。

既存店売上高前年比

08/2期は唯一ファミリーマートが前年比プラスで0.9%となりましたが、残りの3社は前年比マイナスとなり、ローソンが-0.8%、セブン-イレブンが-1.5%、サークルKサンクスが-1.8%となりました。しかしながら、07/2期と比較すると4社とも数値は改善しています。

新店日販

店舗の認知度は出店後徐々に上がっていくため、概して新店日販は全店日販より低い数値となります。各社とも07/2期に比べると改善傾向を示し、ローソンが7千円増、ファミリーマートが1万9千円増、サークルKサンクスが1万5千円増でした。

店舗純増減数

08/2期は、サークルKサンクスを除く3社が店舗数純増となりましたが、純増数は3社とも前年を下回る結果となりました。なお、08/2期末のエリアフランチャイザーを除く店舗数は、セブン-イレブン12,034店、ローソン8,587店、ファミリーマート6,691店、サークルKサンクス4,929店でした。

(注) 各社実績は、各社の決算発表資料および報道資料などより引用しました。なお、セブン-イレブンの新店日販は決算発表資料における記載がないため、上記グラフより除いております。

株主様アンケート結果のご報告



2008年2月期中間期「WAKUWAKU!株主通信」において、アンケートを実施させていただきましたところ、これまでで最も多い1,426名の方よりご回答をお寄せいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。下記にご回答の集計結果をご報告させていただきます。

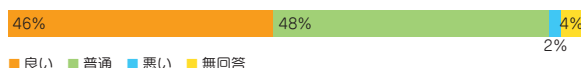
《当社株式に関する今後の方針》

07/2期末と比べてほとんど変化は見られませんでした。 「無回答」が減少した分、「買増し」「長期保有」「売却」がそれぞれ微増しました。



《当社IRへの評価》

07/2期末と変わらず、「良い」と「普通」のご評価はほぼ半々となりました。「良い」理由として株主通信のわかりやすさを挙げていただく一方、最近はこの会社の株主通信も充実しているため「普通」とのご意見もいただきました。より多くの方に「良い」とご評価いただけるよう、さらなる内容充実を目指していきます。



《インターネットご利用の有無》

「利用している」株主様は7割強でしたが、利用率は年代によって大きく差が開きました。また、「利用していない」方の7割強が今後も利用予定はないとのご回答でした。ホームページの充実には今後も努めていきますが、インターネットをご利用でない方にも充実した情報をお届けできるよう株主通信の改善も図っていきます。

現在、インターネットを…

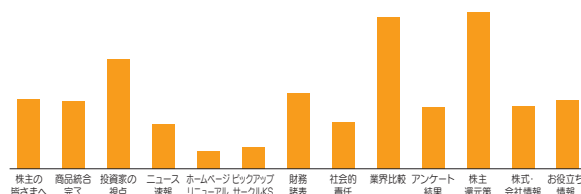


今後、インターネットを…



《「WAKUWAKU!株主通信」において関心の高かった項目》

「株主還元策」「コンビニエンスストア業界比較」に関心が集まりました。特に「業界比較」は、他社の株主通信ではあまり見ない企画とご評価をいただきました。また当期の事業内容や業績をご説明した「投資家の視点」「財務諸表」が次いで高い結果となりました。



ご質問・ご要望より

Q. 当地でもオリジナルマイバッグの配布はないのか？

A. レジ袋有料化条例が施行された名古屋市緑区の店舗において、実験的にオリジナルマイバッグを配布した取り組みを前号でご紹介させていただいたところ、上記のご質問を数多くいただきました。当社は新ユニフォームの導入に伴い、旧ユニフォームからマイバッグを製作し無償配布させていただくという業界初の試みを計画しています。詳細はP.14をご覧ください。

Q. 各地で個人投資家説明会を実施してほしい。

A. 当社は株主総会終了後、株主様へ次期の経営方針を中心に説明する事業説明会を開催していますが、開催地が東京のため、お住まいの場所によっては参加するのが難しいというお声もいただいていた。こうした背景もあり、今後は個人投資家の方を対象とした説明会を、東京以外の場所を中心に、年1回程度実施していく予定です。

Q. 商品についてもっと紹介してほしい。

A. 制作段階から株主様のお手許にお届けするまでに時間差が生じてしまうため、新商品のご紹介は残念ながら情報が限られてしまうのですが、当期に展開した商品についてはご紹介するスペースを拡大し、テーマ別にご紹介しています。詳細はP.7,8をご覧ください。

アンケートご協力のお願い

当社は株主様のご意見を直接お聞かせいただく貴重な機会として、アンケートを実施させていただいております。この株主通信やIR活動、経営全般に対する率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。頂戴したご意見は経営陣へ報告するとともに、できる限り今後のIRおよび株主通信にも反映させてまいります。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。ご回答をご記入のうえ、ご住所とお名前の欄に添付のプライバシー保護シールを貼り、切手を貼らずにそのままご投函下さい。

個人情報の取り扱いについて

アンケートにご記入いただきました個人情報は、アンケート結果の分析および頂戴したご質問などに対する当社からの返信のみに使用し、法令を遵守のうえ厳格に管理いたします。



株主還元策

2008年2月期 年間配当2円増配

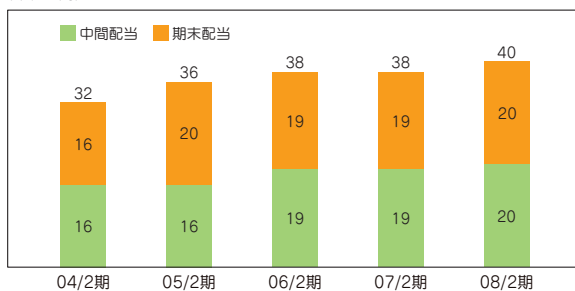
前述の通り、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増していますが、株主還元の充実を経営の重要課題と捉え、2008年2月期の年間配当を2円増配し、中間配当・期末配当ともに1株あたり20円とさせていただきます。これにより2008年2月期の年間配当は40円となり、配当性向は39.1%となる見込みです。

株主還元策の基本方針

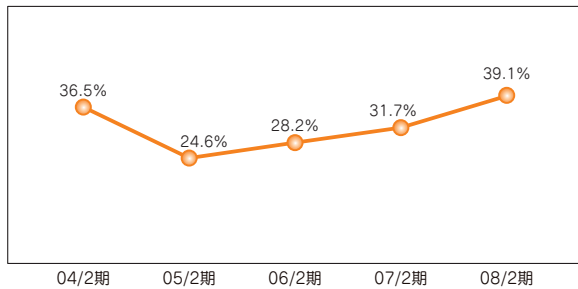
当社は、株主様に対する利益還元について、配当政策を最も重視しています。将来の事業成長を維持するのに必要な経営基盤を強化するための内部留保を充実させながら、利益の成長に応じて株主の皆さまに利益還元を行うことを基本方針としています。具体的には、安定配当の維持を第一に考えながら、連結配当性向30%以上を目処に、中期的な収益環境、設備投資計画および財政状態を見極めつつ株主還元を実施していきます。なお、内部留保資金については、店舗システム関連投資へ備えることに加え、新店の開発や既存店の活性化、新規商品の什器設備などの投資に充てる予定です。

配当金

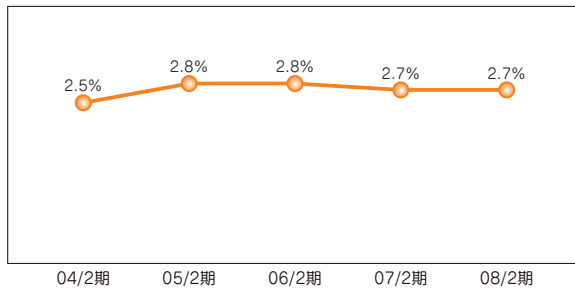
(単位：円)



配当性向



純資産配当率 (DOE)



株主優待制度

株主様にご来店のきっかけとしていただきたく、当社ではサークルK・サンクス全店でご利用いただける「株主様ご優待カード」を右表の通り株数に応じて年2回進呈しています。「株主様ご優待カード」は、下記※を除くすべての商品のお支払いにご利用いただけます。お近くに店舗のない株主様には大変ご不便をおかけいたしますが、約1年間有効ですので、出店地域へお出かけの際にご利用いただければ幸いです。有効期限の詳細については裏表紙のカレンダーをご参照下さい。なお、有効期限を過ぎたカードはご利用いただけませんのでご了承下さい。

※「株主様ご優待カード」をご利用いただけないもの

- 公共料金や通信販売代金などの料金収納
- 電子マネーEdyへのチャージ(入金)

ご所有株式数

株主優待内容

100～499株	1,000円分 (年2,000円分)	
500～999株	2,500円分 (年5,000円分)	
1,000株以上	5,000円分 (年10,000円分)	



株式構成比



株主構成比



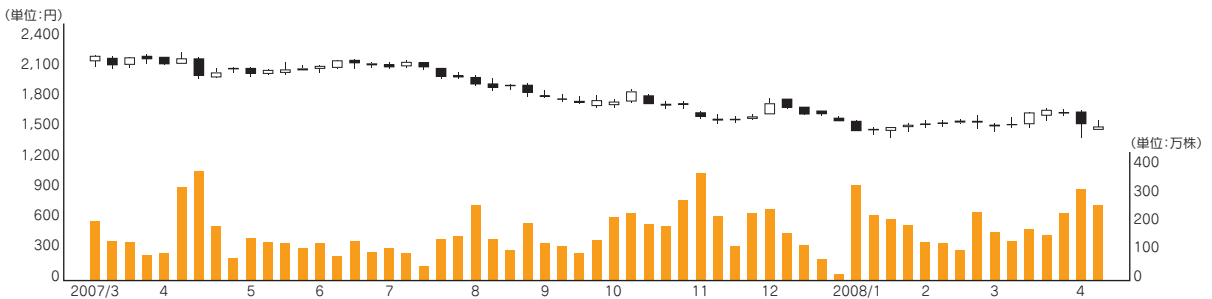
(注) 1. ()内は07/2期末比
2. 個人等には、役員、社員持株会および自己株式を含む。

株主数の推移 (単位: 名)



株主数は前期末より1,749名増加し、過去最高となりました。これに伴い、株主構成比の「個人等」も0.4ポイント増となりました。また、株式構成比では「外国法人等」が6.9ポイント増加する一方、「金融機関」は7.3ポイント減少しました。

株価および出来高の推移



会社概要

商号	株式会社サークルKサンクス
本部所在地	〒104-8538 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル
電話番号	03-6220-9000(代表)
登記上本店所在地	愛知県稲沢市天池五反田町1番地
ホームページアドレス	http://www.circleksunkus.jp/
設立	2001年7月2日(注)
資本金	83億8,040万円
発行済株式総数	86,183,226株
銘柄コード	3337 サークルKS
従業員数	1,738名

(注) サークルKサンクスの前身であるサークルケイ・ジャパン株式会社が、持株会社の株式会社シーアンドエス発足に伴い会社分割した日。会社分割前のサークルケイ・ジャパン株式会社は1984年1月26日設立。

大株主 (上位10位)

株主名	持株数(株)	持株比率
1 ユニー株式会社	40,746,520	47.28%
2 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	6,568,275	7.62%
3 全国共済農業協同組合連合会	2,698,500	3.13%
4 シービー・ロンドン スティッチング ベンシエンフォンズ ソーグエンウェルジジ	1,402,268	1.63%
5 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,293,400	1.50%
6 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,274,600	1.48%
7 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	1,138,200	1.32%
8 メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ベンション	968,660	1.12%
9 バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウツツイ エル アルジー	766,388	0.89%
10 ドイツェ バンク アーゲー ロンドン ビービー ノントリティー クライアント 613	679,400	0.79%

(注) 当社は自己株式2,425,708株を所有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

役員のご紹介 (2008年5月21日現在)

取締役会長	土方 清
代表取締役社長	中村 元彦
常務取締役(経営戦略室長)	安藤 照康
取締役(エリアFC本部長)	高橋 一夫
取締役(総務人事本部長 兼 システム本部長)	山田 克巳
取締役(経理財務本部長)	山口 利隆
取締役(非常勤)	佐々木 孝治
常勤監査役	高須 邦夫
常勤監査役	山口 勉
監査役	桂川 明
監査役	都築 義明

(注) 1. 取締役 佐々木孝治は社外取締役です。
2. 監査役 桂川明、都築義明は社外監査役です。

株主様カレンダー

2008.5.21

第7回定時株主総会
および事業説明会開催
①配当金関係書類
②株主様ご優待カード
③本冊子 を発送



2008.5.22

配当金振り込みの方
↓
本日付でご指定の口座へ
振り込まれます

2008.5.22 - 6.23

配当金領収証受け取りの方
↓
ゆうちょ銀行および郵便局で
お受け取りになれます

(6.24以降はお近くの
住友信託銀行にて
お受け取り下さい)

2008.5.31

株主様ご優待カード
ご利用最終日
(07年春発行分)

優待カードの
ご利用は
お早めに!



2008.6月下旬(予定)

09年2月期第1四半期
決算発表

2008.8.25

サークルKサンクス
権利付株式最終売買日
↓
8.26 - 8.31に当社株を
ご購入されても
08年8月末における配当・
優待の権利は得られません

2008.8.31

09年2月期中間期末

2008.10月中旬(予定)

09年2月期中間決算発表

2008.11.30

株主様ご優待カード
ご利用最終日
(07年秋発行分)

優待カードの
ご利用は
お早めに!



2008.8.14 - 8.31

単元未満株式買増し
手続き停止期間

2008年2月期期末配当：1株あたり20円

お支払い金額 = 20円 × ご所有株式数 × 0.9

(×0.9は源泉徴収税として10%が引かれるため)
※法人の場合を除く)

単元未満株式買増し制度

単元(100株)未満株式の買増し制度により、例えば現在30株をお持ちの場合、70株を買増して100株にすることが可能です。下記の受付停止期間を除いて1年中いつでも買増しいただけます。手続きの詳細は、株式のご所有形態によって異なりますので、下記までお尋ね下さい。

◆ 受付停止期間

本決算および中間決算の期末日を含む各々それ以前の12営業日(上記カレンダーご参照)
※当社が売り渡すべき株式を保有していない場合、ご請求に応じられないことがあります。

◆ お問い合わせ先

保管振替制度をご利用の方 → お取引の証券会社
登録株となっている方 → 住友信託銀行
(右記「株主メモ」ご参照)

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

基準日 定時株主総会: 毎年2月末日
期末配当: 毎年2月末日
中間配当: 毎年8月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年5月開催

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所および名古屋証券取引所市場第一部

公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

住所変更等用紙のご請求 ☎ 0120-175-417
その他ご照会 ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所

住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店